

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

3月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

医療安全対策地域連携に係る相互チェックを実施しました

2018年度の診療報酬改定により、医療安全対策に関する医療機関の連携を目的とする医療安全対策地域連携加算が新設されました。加算の施設基準として、同加算の届出を行っている他の医療機関と連携し、少なくとも年1回程度、医療安全対策に関する評価を相互に行うことが要件の一つとなっています。

今回、同加算届出後初めての相互チェックを実施しました。2月6日に阿蘇医療センター甲斐 豊病院長をはじめ医療安全を担当する4名の方にお越しいただき、当センターの医療安全対策に関する訪問調査を実施して頂きました。当日は、136項目から成る国立病院機構作成の「医療安全相互チェックシート」を基に調査が行われました。始めに聞き取り調査では、医療安全管理体制の整備、緊急を要する場合の対応、患者誤認防止対策、薬剤管理などの取り組みについて質問があり、当院の医療安全担当者が回答を行いました。次に、院内ラウンドにおいて外来・病棟・薬剤科・放射線科の医療安全環境や対策実施状況の調査が行われました。最後に、書類調査でマニュアルの整備状況などを確認して頂きました。総評として「医療安全に関するシステムや取り組みに関して、明らかに改善が必要な点は見受けられない」と概ね良好な評価を受けました。

また、当センターへの気づきとして、①緊急対応に向けての教育、②患者参加型の誤認防止対策、③マニュアルの整備（造影剤の副作用発生時対応や病棟管理

薬剤の取り扱い）等へ助言を頂きました。

今回の訪問調査を受けたことで、当センターが気づきにくい詳細な点について様々なアドバイスを頂くことができました。また、院内ラウンドでは、両施設の各部門の担当者が顔の見える関係を築くとともに、医療安全管理体制や取り組みについて活発な意見交換を行い、有意義な時間となりました。阿蘇医療センターの皆様には大変お忙しい中、当センターまでお越しいただき心から感謝申し上げます。今回の、相互チェックの中で頂いた貴重なご意見などを基に医療安全対策の質の向上に繋げていきたいと思えます。

(文責 医療安全管理室 宮本 裕子)



▲相互チェックの様子

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

医療安全対策地域連携に係る相互チェック…………… P 1
 登録医のご発言・
 放射線科に女性職員が来ました！ …………… P 2
 医療最前線 (112) …………… P 3
 看護研究発表会 …………… P 4
 公開講演会・公開薬剤師研修会 …………… P 5
 外来担当医表 (3月) …………… P 6

登録医のご発言



まえはら泌尿器科クリニック
院長 宮前 公一 先生

はじめまして、前院長の故前原昭仁先生から依頼を受けまして平成30年10月1日からまえはら泌尿器科クリニックで地域医療に携わっております宮前と申します。山鹿といえば学生時代にサッカー部の春合宿で毎年1週間を過ごし、合宿が終わって山鹿市から離れる時は、いつもきつさから解放され安堵していた思い出があります。医師になってからはほとんど熊本市内の病院で働いていたので、その山鹿で毎日患者さんと接することはある意味不思議かつ感慨深いものがあります。前任地は熊本中央病院で、急性期病院の立場で開業医の先生方の紹介をお受けして外科的手術や救急疾患に対する治療を行い、安定してから逆紹介するような役割を担っていました。今は立場が変わり診療所で働いていますと、自分だけでできることの限界や相談をすぐにできる環境が整っていないことが感じられ、以前

はあまり気に留めていなかった紹介する立場の先生方の気苦労や心苦しさが分かった気がします。そんなときには複数の科、医師が存在していて急性期医療にも対応していただける病院は非常に心強い存在であり、まさに山鹿市民医療センターはそのような施設であることを実感している次第です。今後もいろいろな点でお世話になると思いますし、開放型病院の共同利用なども可能な範囲でさせていただければ大変助かりますのでよろしくお願いいたします。



まえはら泌尿器科クリニック

放射線科に女性職員が入職しました！

平成29年4月から山鹿市民医療センター放射線科で勤務しております江藤と申します。

昨年9月に検診マンモグラフィの認定資格を取得してからは、火曜日から木曜日までのマンモグラフィ検査を担当させていただいております。

わが国では、乳がんの罹患者数が年々増加しており、11人に1人の女性が発症すると言われております。また、乳がんで亡くなる女性は2018年には年間14,285人となり、35年程前と比べると3倍以上となりました。

乳がんは早期に発見し適切な治療を行えば、良好な経過が期待できる病気です。欧米では、検診受診率が70～80%と向上したことにより早期に発見できる患者が増え、治療法の発展とも重なり死亡率が減少しています。しかし、日本では乳がん検診受診率が44.9%とまだ低いため、山鹿の皆さんにも気軽にマンモグラフィ検査を受けに来ていただけるよう、技術向上と女

性目線での環境作りなどに努めていきたいと考えています。

現在、山鹿市民医療センターには認定資格保持者が私を含め3名在籍しています。

先輩方と同じように精一杯頑張っていきますので、これからよろしくお願い致します。

その日の検査予約の状況により検査につけないこともありますので、女性技師を希望される場合は事前に電話でご相談ください。

(文責：診療放射線技師 江藤 美佳)



医療最前線 (112)



眼の注射 ～抗 VEGF 硝子体内注射～

眼科

草野 雄貴 医師

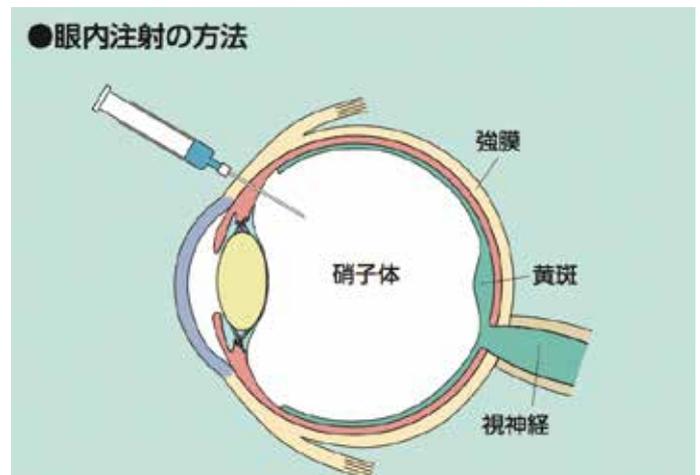
網膜の中でも視力をつかさどる重要な細胞が集中している中心部を黄斑といい、物の形、大きさ、色、奥行きなど光の情報の大半を識別しています。黄斑の中心部は中心窩という最も重要な部分があり、この部分に異常をきたすと、深刻な視力の低下をきたします。加齢黄斑変性や近視性黄斑変性ではこの黄斑や中心窩に新生血管（異常な血管）ができて視力低下をきたします。糖尿病網膜症、網膜分枝静脈閉塞症、網膜中心静脈閉塞症では黄斑部網膜のむくみ（浮腫）や出血を生じ、物が歪んで見えたり視力の低下をきたします。

近年開発された抗VEGF薬（血管内皮増殖因子阻害薬）を眼内に注射（硝子体内注射）することで、この原因となっている新生血管を退縮させたり、浮腫や出血を減少させ、現在の視力を維持し改善させる効果が期待でき、現在では治療の第一選択になっています。また、継続的な硝子体内注射治療を行うことで視機能を維持することができます。

注射の際、麻酔は点眼麻酔を使用し治療を行います。治療はごく一瞬で、圧迫感と軽い痛みがある程度

です。

血管に作用する薬剤ですので脳卒中や心筋梗塞の発症リスクが高まる可能性が指摘されており、このような既往がある患者様には抗VEGF薬（硝子体内注射）はおすすめていません。また、医療費が高額である点も難点です。全ての患者様に適応があるわけではありませんが、これまででない治療効果が期待できます。また、適応となる疾患も拡大されつつあり、今後さらに需要が高まっていく治療法になるでしょう。



原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

ご案内

第62回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
9.医療情報 36.視力障害、視野狭窄 76.糖尿病

下記により第62回公開講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市民医療センター事業管理者 豊永 政和

記

日時：平成31年3月8日(金) 19:00～

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

演題：「抗VEGF治療の過去と未来」

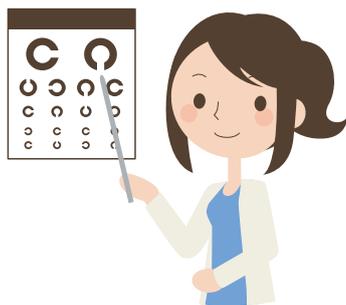
演者：山鹿市民医療センター

眼科 草野 雄貴 先生

会費：無料

お問い合わせ先

📍 山鹿市民医療センター
事務部経営管理課 樋口、迎田
TEL：0968-44-2185 (内線608)



第21回公開薬剤師研修会のご案内

下記により第21回薬剤師公開研修会を開催致します。

院外からの多数のご参加を歓迎いたします。

記

日時：平成31年3月15日(金) 19:30～21:30

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

演題：「他職種で考えるACPとEOLケア」

座長：きらきら薬局 薬剤師 逆瀬川 剛 先生

演者：株式会社神埼薬局

薬剤師 千代延 誠治 先生

会費：無料

申込・お問い合わせ先

📍 山鹿市民医療センター
薬剤科 金森
TEL：0968-44-2185 (内線771)
FAX：0968-44-2420



第21回院内看護研究発表会を開催しました

第21回院内看護研究発表会を平成31年2月16日(土) 鹿本市民センター「ひだまり」で、看護研究アドバイザーとして熊本大学大学院生命科学研究部 看護学講座 教授 前田 ひとみ先生をお迎えし、開催しました。

日々患者さまの安心安全な医療を最優先に看護を提供していますが、より科学的根拠に基づいたものにするために、看護研究・事例発表に取り組みました。今年は2階病棟から看護研究1題と、入職2年目の看護職が取り組む事例発表8題の発表がありました。

看護研究は『「いいね！」探して病棟が変わる』と題し、チームワークの重要性についてチーム成長を測定する尺度を用いたデータで分析を行いました。職場での感謝や尊敬の気持ちを伝え合い共有することで相互の信頼が生まれ、働きやすい職場風土ができた事を発表しました。発表後はグループワークを行い、研究の分析方法やまとめ方を評価し、研究の成果を共有しました。

事例発表は、入職2年目の看護師が先輩看護師に指導を受けながら、自分が行った看護で体験した事例について文献や看護論などを用いて振り返りを発表しま



事例発表の様子

した。人工肛門患者の自己管理指導、インシュリン自己注射の手技確立に向けた指導、手術体位の工夫、整形外科手術患者の不安に対する看護、出産患者の満足したお産に寄り添った看護など、所属部署の特徴を含んだ幅広い事例の発表となりました。

今後も、看護研究や看護の振り返りを通して看護の視野を広げ、地域の皆さまへより良い看護が提供できるよう努めていきたいと思えます。研究を行うにあたり、ご協力いただきました患者さま、ご家族、ご支援いただきました皆さまに深く感謝いたします。

(文責：看護研究委員 竹田 由香里)



グループワークの様子



外来担当医表

3月

診療科名	月	火	水	木	金
内科	永野 久俊	—	—	永野 久俊	永野 久俊
緩和ケア内科	—	坂田 典史	—	坂田 典史	坂田 典史(午後)
腫瘍内科外来	—	—	※ 陶山 浩一	—	—
呼吸器内科	—	※ 熊大医師	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
循環器内科	大庭 圭介 久保田 雄二	大庭 圭介 久保田 雄二	久保田 雄二 大庭 圭介	※ 海北 幸一 久保田雄二/大庭圭介	大庭 圭介 久保田 雄二
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
消化器内科	本原 利彦	柚留木 秀人	堤 英治	堤 英治 柚留木 秀人	本原 利彦
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰	工藤 智志 松永 英人	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 吉田 泰	手術 (担当医)	別府 透 木下 浩一
乳腺外科	—	※ 末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※ 山崎 浩藏	—	※ 原 千瑛	—
小児科	※ 石井 真美	—	※ 石井 真美 予防接種(午後)	※ 石井 真美	—
セク ン ダ ー リ 器	耳鼻咽喉科	—	※ 深見 直美	—	※ 非常勤医師
	眼科	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴
産婦人科	産婦人科	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら
	※片渕美和子(午後) 3/5(火)、7(木)、12(火)、19(火)、26(火)、28(木)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	吉岡 明子	外科医(午前) 担当医(午後)

健診	豊永 政和 柚留木 秀人	豊永 政和 本原 利彦	豊永 政和 柚留木 秀人	豊永 政和 本原 利彦	豊永 政和 柚留木 秀人
----	-----------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までをお願いします。
◎小児科診療時間は9:00から16:30(受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。
※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

3月

名称	担当医等	実施日	診察場所
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※ 石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
糖尿病外来	川崎 修二	毎週 木曜(9:00~12:00)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	3/5(火)、7(木)、12(火)、19(火)、26(火)、28(木)	
PEG外来	担当医	毎週 水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第3・第4日曜日(10:00~12:00) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
◎急患の場合は、この限りではありません。
◆注意:学会等の都合で変更になる場合があります。
◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

 山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>